

大漁祈願！沖合底びき網漁船の出港祭を開催



田後海洋少年団の手旗信号

月1日から来年の5月31日まで、現在には白ハタや赤ガレイが主な漁獲です。11月6日には、いよいよ町が漁獲量日本一を誇る松葉がに漁が解禁となります。今から待ち遠しいですね。

漁期は、9月1日から来年の5月31日まで、現在には白ハタや赤ガレイが主な漁獲です。11月6日には、いよいよ町が漁獲量日本一を誇る松葉がに漁が解禁となります。今から待ち遠しいですね。



岩美西小学校による鼓笛隊

8月31日（月）、燃油高騰や魚価の低迷など漁業を取り巻く環境が依然厳しい中、網代漁港と田後港からは、家族や地元の方々に見守られ22隻の沖合底びき網漁船が次々と出港していききました。出港に際し、網代では岩美西小学校の鼓笛隊や和太鼓演奏などによる出港祭が行われ、また田後では海洋少年団の手旗信号が激励を送りました。

岩美高校2年生有志 トイレ外観の絵をリニューアル ～NPOウイング本庄支援～

河川緑地本庄公園のトイレ外観の絵が、このたびリニューアルされました。NPOウイング本庄の支援を受けて、岩美高校2年生美術選択の有志8人が3月～9月の約半年間かけて描いたものです。今回のトイレ外観の絵のテーマは十二支。描かれた絵の一つである十二支の懷中時計は、完成した9月5日にちなみ、9時5分を指しています。また、トイレに『ワクワクトイレ』とネーミングし、プレートを付けました。ますます入ってみたいくなる楽しいトイレとなりました。



岩美町還暦式 第二の人生を考えるきっかけに

9月22日（火）岩美町中央公民館大講堂で還暦式が行われました。この還暦式は今後の第二の人生について考えていただき、長年にわたって蓄積された知識・技能・エネルギーを、自発的な地域活動や取り組みにつなげるきっかけとしていただくことを目的として行われています。今回対象となったのは、岩美町内に在住又は岩美町出身者で、本年度還暦を迎える昭和24年4月2日～昭和25年4月1日に生まれた方で、当日は埼玉県など県外からの参加者を含め、89名が参加しました。岩美町自立推進課長川上壽朗氏による「浦富海岸ジオパークをきっかけに」と題した事例発表、岩美南小学校児童による「きつともどるよ ふるさとに」等の合唱が行われ、参加者は岩美町の良さを改めて感じながら、久しぶりに会う友との楽しいひとときを過ごしました。



実行委員長
松葉聖一さん

還暦式に参加して
思うこと

培ったいろいろなことを発信していきたいです。それによって岩美町が発展することを願っています。そのために、町もどんどん情報を発信してほしいです。

